

資料 6 目標の設定手順

目標の設定は目標が設定されていない場合とすでに設定されている場合とで、資図 6-1、資図 6-2 に示すような手順が考えられる。

① データの統計処理

目標は、統計処理をして設定する。

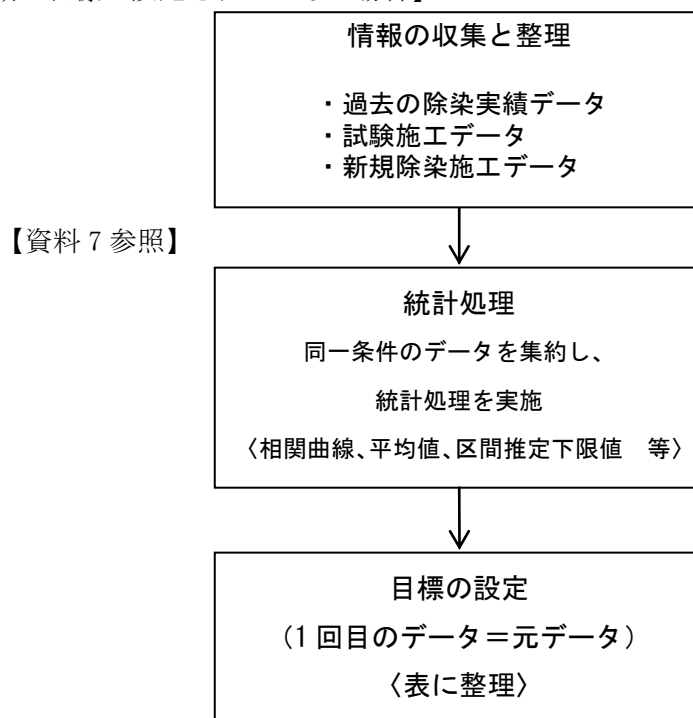
除染前の除染対象物の汚染状況のばらつき、除染施行時のばらつき、測定時のばらつきにより、同一工法・同一仕様の除染を行った場合でも、除染結果の多少のばらつきは避けられない。そのため、複数の除染結果のデータを用いて、統計的な処理によって目標の値を決定する必要がある。(詳細については、資料 7 参照)

② データの更新

目標を一回設定してもその初期の設定値が妥当か否かを照査していく必要がある。

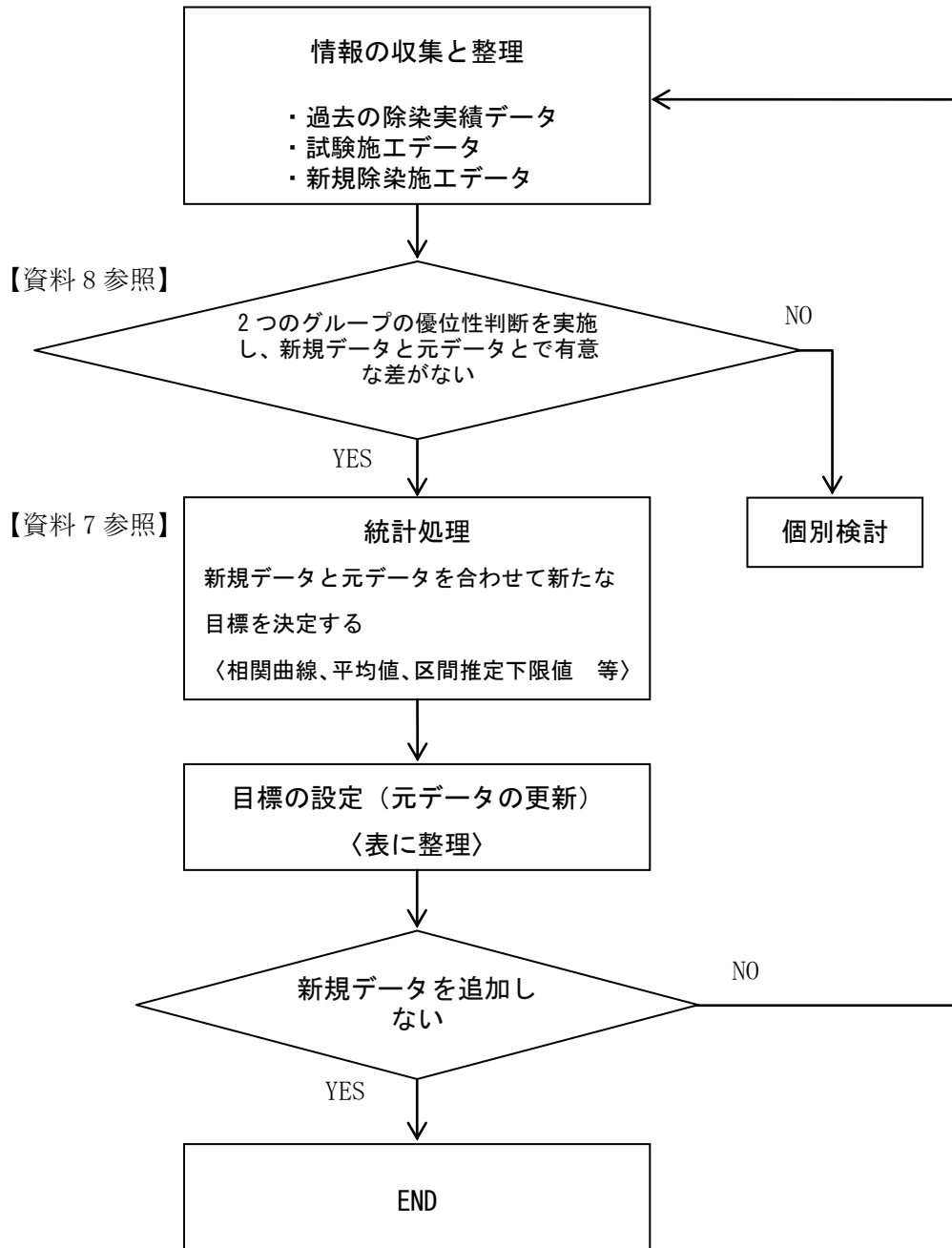
今回の除染によって得られたデータを目標設定のデータとして追加することにより、目標の精度をさらに高めることができる。また、今回のデータと他のデータを比較したときに、当初の目標設定と傾向が異なる場合には、評価方法を見直す。(詳細については、資料 8 参照)

【初期の目標が設定されていない場合】



資図 6-1 初期の目標が設定されていない場合の目標の設定手順

【目標（元データ）が有り、新規データを反映して更新していく場合】



資図 6-2 目標（元データ）が有り、新規データを反映して更新していく場合の目標の設定手順